

6月議会報告

6月議会では、高橋議員が会派質疑に、宇土、大石、伊藤、永井の4議員が一般質問に登壇しました。

また、「今国会で選択的夫婦別姓制度の実現を求める意見書」について、質疑があり、山内議員が答弁に立ちました。(記事:裏面)

本会議論戦

監視?どこで?誰を?住民への周知を!



宇土 浩一郎 議員

注視区域の指定は、その地域で生活する人々へ影響のあるものです。行橋市は、指定による市民への影響までホームページに記載しています。

大事なことはいち早く市民に知らせるべきです。また、市として住民説明会を開き、市民の意見を聞くべきだと強く訴えました。

戦闘機よりコメを!



大石 正信 議員

内閣府は武力攻撃を想定し、先島諸島の住民を九州などへ避難させる計画で、北九州市は約6,780人受入予定です。市は「国の専管事項」として関与しませんが、住民の福祉を守る責務があります。

市が戦争前提の計画に異議を唱え、平和的外交への転換を国に求めるべきです。

子どもも 教員も両方のストレス緩和を!



伊藤 淳一 議員

ここ30年間、不登校児童生徒数は増え続けています。教育の競争と管理の激化、教育機会確保法による学習活動優先、詰め込み教育により、子どもたちは疲弊しています。

北九州市の不登校率は全国を上回っています。全国学力テスト廃止や授業数削減で、子どもを人として尊ぶ社会の実現を求めました。

学校給食の無償化 早急に!



永井 佑 議員

学校給食の無償化すること自体は決定で間違いないことをハッキリ表明すべきと追及しました。

市はあいまいな答弁を繰り返し、国がやるまで待つ姿勢を明らかにしました。

市民に非公開となっている無償化を検討するプロジェクトチームについても、会議の公開や市民の意見を聴取する仕組みにすべきと要望しました。

次回の陳情・請願締め切りは、9月初週の予定です

～6月定例会を終えて～

お米をはじめとする物価高に対し、北九州市には市民のくらしを守るための実効ある取り組みが求められています。

しかし、武内市政が物価高騰対策として6月の市議会に提案した予算は、1,800万円のみで、市民一人当たりわずか20円にすぎない全く不十分なものでした。

国の対策が後手後手になっているなかで、周辺の自治体では独自の財源を上乗せして、現金や電子クーポンの給付など、住民のくらし応援の取り組みを行っています。

日本共産党北九州市議団は、市民生活に寄り添った施策実現のために、引き続きみなさんの声を届けます。



団長
荒川 徹

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2025.7.2
No. 594



市営住宅の共用部分 LED 化 2030 年度を目標に実現！

市は現在の蛍光灯照明器具本体が壊れたら、LED 照明に取り換える対応をしていますが、一般照明用の蛍光灯ランプの製造・輸出入は 2027 年までに段階的に廃止となります。

永井議員は一般質問で、早急に調査・計画の作成と、全市営住宅の共用部分及び市が設置した照明器具本体の照明を LED に取り換えを求めました。

令和7年度の取り組み

- ① 共用部分の蛍光灯の現状調査
- ② 一団地にてモデル事業（リース方式での整備）を実施

求めてきたものが前進します！

これまで議会で求めてきた要望に対し、市が前向きな答弁をしました。



● 学校体育館へのエアコン設置

「既存校についても順次進めていくことを目指し、教育委員会と具体的に協議を進めてまいります」

● 人工呼吸器ユーザーへ 非常用電源の支援

「非常用電源を含め、幅広い関係者と協力しながら、災害時の支援体制の整備について検討してまいりたいと考えております」

意見書 選択的夫婦別姓制度の質疑

今回提出した「今国会で選択的夫婦別姓制度の実現を求める意見書」に対する質疑が行われました。

山内議員は、質疑に対する答弁の中で、現行の制度は、1889 年に施行された明治憲法下のものであり、この時代は女性が蔑ろにされてきた歴史があること。世界でも日本だけが法律に縛られており、ジェンダー平等という観点から、グローバル化を進めていく必要があることを指摘しました。



同性でも、別姓でも、夫婦が自由に選べる社会の実現を求めるものです。

文化と芸術を大切に！

藤沢かよ・出口しげのぶ両前市議は、費用弁償（交通費）として供託されていた 137 万 5131 円を 6 月 27 日、市に寄付しました。

藤沢さんは城野遺跡公園の維持管理に、出口さんは芸術文化振興財団を通じた音楽文化支援に役立ててほしいとしています。



全ての意見書に対する
賛否はコチラ▶

日本共産党提出意見書に対する会派賛否表	日本共産党	無所属の会	自民党・自由民主党	公明党	市民ととも	北九州党	緑の風	まるまる	維新の会	変革と成長	結果
	7	16	13	10	3	3	2	2	1		
今国会で選択的夫婦別姓制度の実現を求める意見書	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	否
日本学術会議の特殊法人化の撤回を求める意見書	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	否
被爆 80 年に当たり核兵器禁止条約への署名・推進を求める意見書	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	否
消費税の引下げを求める意見書	○	×	×	×	○	○	×	○	○		否
最低賃金法の改正を中小企業等への支援の拡充・強化を求める意見書	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	否
能動的サイバー防御法の廃止を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否
GX 推進法及び GX 基本方針の見直しと、真に持続可能な脱炭素政策の実施を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否

日本共産党各議員の常任委員会配置（◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員）

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
永井 佑	大石 正信	◎高橋 都	伊藤 淳一	○荒川 徹	☆山内 涼成
		宇土浩一郎			